

シルバー まつぶし



□令和6年度定時総会

日時：令和6年6月21日 午後1時30分開会 於：松伏町中央公民館
会員数249人、出席者数55人と委任状142人の合計197人のため、
過半数（79%）の参加で、総会開催要件を満たし、総会は成立しました。
（開会時に齋藤事務局長より総会開催要件成立報告）

- 理事長挨拶・永年会員表彰（20年・10年）
- 来賓祝辞 鈴木町長 田口町議会議長
- 決議事項及び報告事項・副理事長閉会挨拶
- 新任役員紹介
- 令和6年度専門部会及び職群班紹介・令和5年度事業実績

□シルバー人材センター活動紹介・シルバー農園の四季

発行：公益社団法人松伏町シルバー人材センター

■ 川井理事長挨拶



令和6年度松伏町シルバー人材センター定時総会の開催にあたりご挨拶申し上げます。会員の皆さん、本日はご多忙のところ、また、足もとの悪い中ご出席いただき誠にありがとうございます。また、本日大変お忙しい中、鈴木町長様、田口議会議員のご列席を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、シルバー人材センターは、社会情勢の厳しい中、職員、会員の皆様の努力のおかげで、何とか現状維持を保ってまいりました。その中には鈴木町長様をはじめ行政の皆さんのご理解、ご協力のあったことは言うまでもありません。令和6年度においても行政のご理解を得まして、シルバー人材センターの理念であります、自主・自立・共働・共助のもと一步一步会員の皆様と歩んでいく覚悟でございます。会員の皆様のご理解ご協力を賜り一丸となり進んでまいりましょう。

■ 永年会員表彰

敬称略・会員番号順

□20年表彰者 清水光枝

□10年表彰者 菊池功明 小林美香 山下直紀 伊藤孝子 今井俊夫 石川博子

吉成正秋 影山 晃 藤本和恵 湊 孝司 柴田 茂



■ 来賓祝辞

◇鈴木町長祝辞



永年会員表彰を受けた方々、誠におめでとうございます。また長年町に貢献していただいたことに対して感謝したいと思います。

さて、高齢者をなぜシルバーと呼ぶようになったのでしょうか。それは電車の中に高齢者専用の座席を設置しようとしたとき、一番多く余っていたシートの色がシルバーでした。それを張り替えて高齢者専用座席が出来上がりました。けて髪の色が白くなったからシルバーと呼ぶようになったのではないのです。

そういった中で、シルバー人材センターというのは、過去にいろいろな知識と経験と技能を持った人たちが集まっている、そういう意味ではゴールドかもしれません。戦後の高度経済成長期に地方から都市に出て働く若者を「金の卵」と言いました。今は70歳まで働いていろいろな技能を持って集まる皆さんのいる場所は「ゴールド人材センター」かもしれません。いつまでも働いて活躍していただきたいのですが、近年の夏の暑さは非常に厳しいので、健康には留意していただきたい。そしていつも役場の内外をボランティアできれいにしていただいていることに感謝申し上げます。

◇田口町議会議員祝辞



議会を代表いたしまして一言ご挨拶をいたします。

本日は令和6年度松伏町シルバー人材センター定時総会にお招き預かりまして誠にありがとうございます。会員の皆様には議会、町政にご理解をいただきまして感謝いたします。先ほど長きにわたっての会員の方々への永年表彰がございました。改めて深く感謝したいと思います。

さて、みなさんがシルバー人材センターの会員になった動機、きっかけは様々でしょうが、少し思い返してください。友達に誘われた、自分の技能、知識を生かしたい、そのような思いをもって入られたのではないかなと思います。その時の夢、動機、希望など今でもその方向に向かっているとは思いますが、当初の気持ちを忘れずに、今後、仲間とともに更に地域社会の発展に寄与していただきたい。そのような組織が私はシルバー人材センターだと思っています。私も以前、役場職員であった時は皆様とともに町や役場の美化に汗を流してきたことを忘れてはおりません。皆様には今後とも養われました知識や経験、技能を生かして、活力あるまちづくりのために、お力を貸していただきたいと思っています。

決議事項

議長に西城副理事長が選出され、各議案の審議が行われ、賛成多数で原案通り承認可決されました。

- ・ 第1号議案 令和5年度事業報告 承認の件
- ・ 第2号議案 令和5年度決算書類 承認の件 監事監査報告(里見純庸監事)
- ・ 第3号議案 定款一部改定 承認の件
- ・ 第4号議案 任期満了に伴う役員選任案 承認の件

報告事項

- ・ 報告1 令和6年度事業計画 報告の件
- ・ 報告2 令和6年度収支予算 報告の件
- ・ 報告3 理事長・副理事長就任 報告の件

西城副理事長閉会挨拶



副理事長に任命され、2年目に入ります西城です。令和5年度は派遣契約の事業所が8ヶ所になりました。今までの働き方と違い、戸惑った方もいたかと思います。シルバー人材センターも色々変わりつつあります。これからの働き方改革も含め、共働・共助の理念をもってまい進してまいります。

これをもちまして令和6年度松伏町シルバー人材センター定時総会を閉会させていただきます。ありがとうございました。

新任役員紹介



木村博理事

青谷正勝監事

田代英次理事

山崎文男理事

飯島滋理事

齊藤晴夫理事

齋藤一夫理事



目黒健二
理事

藤岡会員作



中川由美子監事

小室豊子理事

川井靖士理事長

西城正和副理事長

梅山洋一理事

馬込よし枝理事

令和6年度 専門部会・職群班紹介

令和6・7年度 公益社団法人松伏町シルバー人材センター
専門部会

任期/令和6年定時総会開催日～令和8年定時総会開催日

部会名	部長	副部長	部会員
総務部会	西城正和 (副理事長)	山崎文男 (理事)	梅山洋一(理事)
			中川由美子(監事)
			青谷正勝(監事)
広報部会	馬込よし枝 (理事)	青谷達夫 (会員)	藤岡博行(会員)
			田中順子(会員)
安全就業部会	飯島滋 (理事)	齊藤晴夫 (理事)	一本富士人(会員)
			安田正(会員)
			安生治男(会員)
			事務局(就業担当)
女性部会	小室豊子 (理事)	今井武子 (会員)	馬込よし枝(理事)
			古賀住子(会員)
適正就業部会	梅山洋一 (理事)	木村博 (理事)	山崎文男(理事)
			齊藤晴夫(理事)
			田代英次(理事)
シルバー農園 運営管理	村田哲哉 (会員)	高橋和敏 (事務局)	坂巻一郎(会員)
			鈴木一男(会員)
			石塚昭次(会員)

令和6年6月21日現在

敬称略

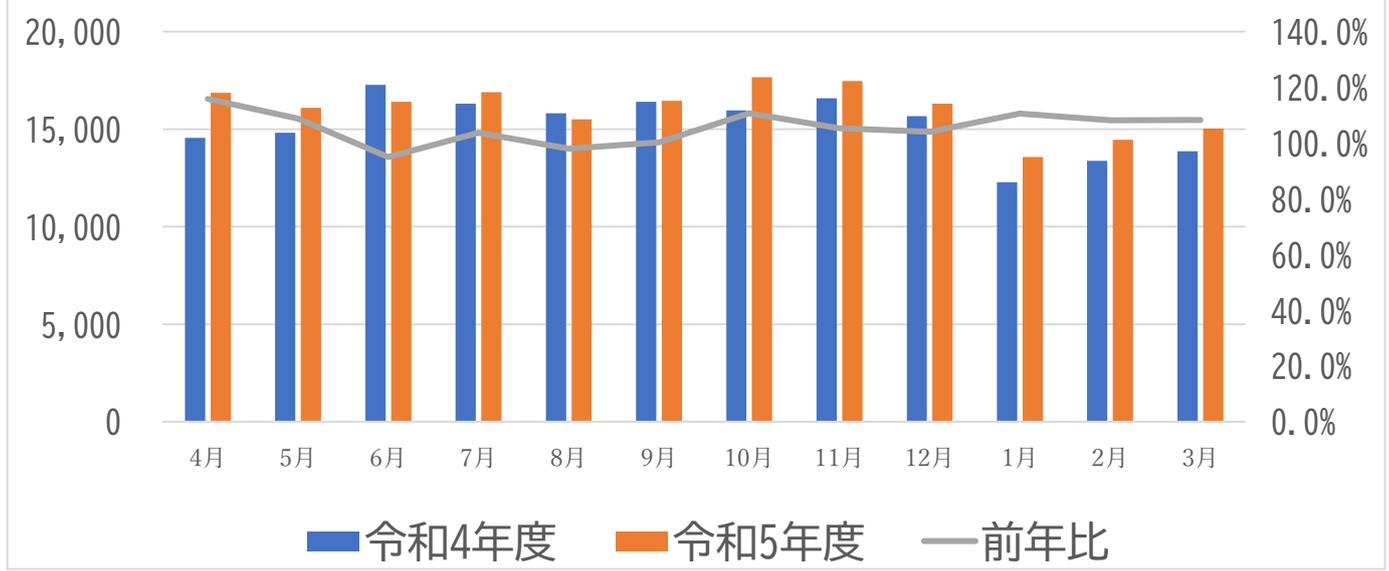
令和6年度 職群班 ブロック 一覧表

ブロック名	職群班	正リーダー	副リーダー	担当理事
剪定・除草 ブロック	特殊班(都市公園)	安田 正		齊藤晴夫 飯島 滋
	特殊班(緑の丘公園)	幕田 和彦		
	除草班(都市公園)	高橋 諭		
	除草班(緑の丘公園)	鈴木 君枝		
受付管理 ブロック	外前野記念会館	鈴木 政代	佐藤 壽美恵	田代英次
	多世代交流学習館	中野 政義	矢田 孝	
	B&G海洋センター	根本 豊作	青谷 達夫	
	中央公民館	土屋 健雄	金子 由紀子	
	ふれあいセンター「かがやき」	今井 武子	吉田 忠男	
	北部サービスセンター	岩崎 廣行	野上 為雄	
清掃 ブロック	児童館「ちびっ子ランド」	中村 弘美		山崎文男
	役場清掃	高澤 以久子		
	三戸里園	田中 江里子		
	いなげや	戸ヶ崎 雪夫	大畑 俊子	
	南関東日野自動車	内海 富佐子		
軽作業 ブロック	リサイクルセンター	小川 一郎	大澤 眞治	木村 博
	西尾レントオール	育野 准治	横林 邦夫	
	共栄フード	丸山 三郎	長野 良一	
	町内パトロール	菅 幸恵	松下 安孝	
	カインズ	佐藤 文男	阿部 晴二	
	丸和運輸機関	丸山 章次	石田 一次	
	エスピースバイス工業	大橋 孝二		
	カンノ	佐藤 東一郎		

敬称略

令和5年度 事業実績

契約金額月別推移 (センター全体)



■ シルバー人材センター 活動紹介

◇メロディー祭で女性部会による革製品販売活動



シルバー人材センター女性部会では、2月25日に多世代交流学習館メロディーで開催した「メロディー祭」に参加し、革製品の展示、販売を行いました。

女性部会では、牛皮などを手作りで加工し、小物として製品化して、様々なイベント時に出張販売を行っています。

この日は、多世代交流学習館を日頃活用している民謡、コーラス、ウクレレ、ダンスなどの団体の日頃の練習成果が披露され、雨にもかかわらず多くの来場者がありました。

1階の私たちの展示販売コーナーにも多くの方がお見えになり、興味深く質問されたり、販売にもご協力いただきました。また、近くに出店された方との交流も行なうことができました。



◇「松の木の剪定講習会」を開催(会員対象)

シルバー人材センター特殊班では、3月16日に松伏町役場敷地内の松を利用して、正しい剪定の実技指導講習会を実施しました。約15人の会員が参加しました。

松の剪定の心得は、

- ① 弱い芽を輪郭の基準にする。
- ② 芽を余裕目に詰める。
- ③ 高さを揃える。
- ④ 濃さは周りに合わせる。
- ⑤ 不要な枝(枯枝も)は必ず切り落とす。
- ⑥ 光が当たって風通しがよく、木の輪郭が見えるようにする。

ということを中心に心がけて木に向き合うということです。

参加者は、実際の松にハサミを入れていき、葉の付け根にある新芽を傷つけないよう余分な枝をカットして詰めていきました。松は新芽が正しく育つようにして、木全体を整えていくとよいということでした。



◇「音楽による認知症予防講座」開催(会員と家族対象)

シルバー人材センター女性部会では、3月2日にハーモニーにて、認知症予防のための「音楽による認知症予防講座」を開催しました。講座には会員とご家族約40人が出席しました。講師に、なのはなの里から、大塚節子音楽健康指導士、大塚俊太郎・大塚智美理学療法士、向稔子音楽療法士の4名をお招きし、薬を使わないで認知症を予防する音楽療法を学びました。音楽療法には集団で行うことで、心理的動き(励まされる・リラックス)、生理的動き(血行促進・免疫力増加)、社会的動き(協調性・一体感)などが刺激され、認知症予防につながることでした。そして、実技では、みんなで童謡の「たき火」や「春よ来い」、懐かしのメロディーの「高原列車は行く」を歌いながら、体全体に意識を集中させ、手足を動かす練習をしました。なるほど、脳と体が一体となり、この運動を継続することで認知症予防につながることを実感しました。



◇シルバー人材センター仲間たちとの旅



6月3日 女子会有志のハイキングで鎌倉へ紫陽花を見に行きました。ガイドは元会員の島山さんをお願いしました。ハイキング当日、松伏では小雨・・・でも参加者の普段の心掛けよろしく鎌倉は晴天に恵まれ最高のハイキング日和となりました。気分爽快(^_^♪
ハイキングコースは、明月院→建長寺→長谷寺→鎌倉大仏→鶴岡八幡宮・・・なんと2万歩も歩きました。色とりどりの紫陽花の美しさを堪能、更に様々な場所で出会う花々も、スマホの検索機能で名前も分かり新たな楽しみもありました。もちろん長谷寺で食べたお昼は格別でした。シルバー人材センターに入会したお陰で、仕事を通して気の合う仲間とこの様な楽しい時間を持つことができました。



■ シルバー農園の四季

◇農園の春 農作業の始まり



シルバー農園にも春が訪れました。本格的な農作業の始まりです。

農園にお伺いしたこの日は、ジャガイモの種イモの植え付けの真最中。去年は収穫時に長雨にあい、収穫できませんでしたでしたが、今年は無事に育って、町内の幼稚園児に芋掘体験をしてもらうのだそうです。

農園では、ジャガイモ以外にもダイコン、里芋、長ネギなどを作付けし、イベント時に販売しています。

◇農園の初夏 ジャガイモの収穫



6月7日、シルバー農園のジャガイモ掘りに、まつぶし幼稚園年長さん39人が挑戦しました。天候にも恵まれシルバー農園に4年ぶりに子供たちの元気な声が響きました。ジャガイモの茎をもって引きぬくと、土の下には大きなジャガイモがゴロゴロ。「大きいのとれたよ」と笑顔がはじける。ねえ、ジャガイモでどんな料理作ろうか？ という問いかけに「ポテトサラダ、肉じゃが」と元気な声が返ってくる。

このジャガイモは3月初旬にシルバー農園部隊がたんせい込めて植え付けた種イモが、大地の恵みと光と風を受けて成長したもの。

そしてこのジャガイモたちが、子供たちの農業体験談として、家庭の食卓を少しにぎやかにする。

■ 賛助会員の加入にご協力ください

◇シルバー人材センターは、公共性が高く、利益を追及していません。また、契約金額の大部分を会員へ配分しています。よって、自主財源で運営することが極めて困難であり、行政からの補助金や皆さま方からのご援助が必要不可欠であります。センターの趣旨にご賛同いただける方は、賛助会員としてお力添えをいただければ幸いです。何卒よろしくお願い申し上げます。

◆賛助会員（個人） 年会費／一口1,000円（二口以上、大歓迎です。）

◆賛助会員（企業・団体）年会費／一口5,000円（二口以上、大歓迎です。）

★ご協力いただける方は、センター事務局までご連絡ください。

■ シルバー人材センター正会員募集のお知らせ



◇シルバー人材センター正会員を募集中です。

センターの理念、趣旨に賛同し興味のある方は、入会説明会(予約制)にご参加ください。

◎正会員の年会費／3,600円◎

★令和6年入会説明会開催日／8月6日・9月10日・10月8日・11月12日・12月10日

★開催場所／外前野記念会館(ハーモニー)

※入会説明会は予約制です。電話予約をお願いいたします。

◇シルバー人材センターの基本理念

シルバー人材センターの理念は『自主・自立・共働・共助』です。

また、ボランティア精神が必要です。高年齢者が就業を通じて、自己の労働能力を活用し、それによって追加的な収入を得ると共に、自らの生きがいの充実や社会参加を希望する高年齢者に対して、地域社会の日常生活に密着した『臨時的かつ短期的な仕事』を組織的に把握し、提供する高年齢者の自主的な団体です。

■ 編集後記

平年より遅れて梅雨入りした日本列島。今年がどのような夏になっていくのかとても心配です。酷暑・渇水? 不安が胸をよぎる。日本ばかりではない。世界中で異常気象による自然災害が起きている。そんな夏を乗り切るための方策として、無理のない節水、節電も重要であるが、暑さに負けない体力づくりも必要になってくる。先日、体力づくりと仲間との懇親を深めるため、鎌倉に行ってきました。ハイキングなので無理なく2万歩も歩くことができました。これも厳しい夏を乗り切るための予防策。

さて、皆さんは体力づくり、体力維持のためにどんなことにチャレンジしていますか?

編集・発行：公益社団法人松伏町シルバー人材センター 広報部会

〒343-0114 埼玉県北葛飾郡松伏町ゆめみ野東3-4-1

外前野記念会館ハーモニー内

電話番号：048-992-4333 FAX 番号：048-992-4378

E-mail/matsubushi@sjc.ne.jp

